

入院診療計画書

人工膝関節置換術を受けられる



様へ

入院説明日:

入院時の診断・病態

診療科: 整形外科

病棟:

月日(日時)	経過(病日等)	外來	入院日/手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日	手術後2日
目標	①治療の目的を理解し同意している ②入院の準備ができる	①手術前後の流れがわかる ②手術に向けて身体的・精神的な準備を整えることができる		朝の薬は指示に従って内服してください	手術後に点滴があります。	①血圧・脈拍・体温が安定している ②傷の痛みが軽減する ③38度以上の発熱がない ④創部の感染徴候がない ⑤深部静脈血栓の徴候がない	①血圧・脈拍・体温が安定している ②傷の痛みが軽減する ③38度以上の発熱がない ④創部の感染徴候がない ⑤車椅子へ移動できる ⑥深部静脈血栓の徴候がない
処置・薬	血液をサラサラにする薬(抗凝固剤)を飲まれている方は医師にお伝え下さい 常用している薬があれば、入院時にご持参下さい	持参薬を確認します 血液をサラサラにする薬(抗凝固剤)は中止して下さい		朝の薬は指示に従って内服してください	手術後に点滴があります。	抗生剤の点滴があります 点滴終了後は針を抜きます 抗凝固剤の皮下注射をおこないます 手術前に中止していた薬を再開します (医師から指示があり看護師が説明します) 傷口に入っている管を抜きます	必要時にガーゼ交換を行います 10日目まで9時と21時に皮下注射があります
検査	採血・レントゲン・心電図・肺機能検査があります		手術時間は( )からの予定です 所要時間は、およそ( )時間です。	手術中にレントゲンをとり 傷口に管が入ります 手術中に点滴の針と尿の管を入れます	採血があります		
観察	手術をうける部位の状態を確認します	身長と体重を測定します 血圧・体温・脈拍を測定します 入院前の生活状況を伺います	6時と手術出棟前に血圧・脈拍・体温を測定します	適宜、血圧・体温・脈拍を測定します 傷の状態や手足のしびれ・運動状況の観察を行います 痛みや吐き気がある時は申し出てください	6時・10時・14時・19時・22時に 血圧・体温・脈拍を測定します 傷の状態や足のしびれ・運動状況を確認します	6時・10時・14時・19時に 血圧・体温・脈拍を測定します 傷の状態や足のしびれ・運動状況を確認します	
活動		院内自由です	手術室へは、歩行または車椅子で行きます 状況に応じてベッドで行きます	ベッドで入室します ベッド上安静となります 横をむくときは看護師をよんでください	傷口の管が抜けたら端座位になれます リハビリを開始します 機械を使って膝を曲げる運動を行います	車椅子乗車できます 機械を使って膝を曲げる運動を開始します	
食事		普通食をお出します (必要に応じて治療食へ変更する場合があります)	朝から絶食です 飲水は、手術予定時間の3時間前( )までです	お腹の動きを確認後に、飲水ができます	朝から食事を再開します		
清潔		入浴できます 手術前日にはマニキュア・指輪・化粧・湿布は外しておいてください *入浴時間を調整するので希望時は看護師に声をかけてください *介助が必要な方は申し出てください			清拭を行います	傷の状態をみてシャワー浴の許可ができます(傷はテープで保護します)	
排泄		病棟内のトイレをご利用ください	手術予定30分前には排尿を済ませてください	手術後は尿の管が入っています		尿管を抜きます。 車椅子でトイレへ行きます 許可が得るまで看護師の見守り下で行います	
患者様及びご家族への説明・書類	・日常生活について伺います 以下の説明を行います ・入院申し込み ・手術必要物品 ・入院診療計画書 医師により手術の説明があります	・主治医・麻酔科医より手術の説明があります ・手術室看護師より手術室の説明があります ・入院時オリエンテーションを行います ・入院診療計画書の説明をします ・転倒・転落予防の説明をします ・手術物品の確認をします ・看護師が手術の流れについて説明します ・術後の血栓予防について説明します ・管理栄養士から食事指導があります(特別食の場合) ・弾性ストッキングの着用方法について説明します ・入院期間中に薬剤師から薬の説明があります	・手術に行く時は時計・めがね・入れ歯などは外してください ・女性の方は化粧、マニキュアは除去して下さい ・病室を出る前に弾性ストッキングを履いてください(手術しない方) ・手術中、家族の方はデイルームか家族控室で待機してください	・痛みがあれば知らせて下さい ・安静度や点滴について説明します ・主治医から術後の結果について説明があります		退院に向けて準備を進めていきます 退院後の生活で不安なことがあれば、医師または看護師に相談してください 日常生活の注意点を説明します	

説明医師:

印

受け持ち看護師:

説明看護師:


患者または

患者家族氏名:

上記の説明を受け、理解しましたので同意します

注1:病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。  
注2:入院期間については現時点で予想される期間です。ご了承ください。

平成 年 月 日

月日(日時)	/	/	/	/	/	/
経過(病日等)	手術後3日	手術後4～5日目	手術後6日～7日目	手術後8日～15日目	手術後16日～21日目	退院日
目標	①血圧・脈拍・体温が安定している ②傷の痛みが軽減する ③38度以上の発熱がない ④創部の感染徴候がない ⑤車椅子へ移動できる ⑥深部静脈血栓の徴候がない	①傷の痛みが軽減する ②38度以上の発熱がない ③創部の感染徴候がない ④補助具を使って歩行ができる ⑤深部静脈血栓の徴候がない ⑥膝の屈曲が90度までできる		①傷の痛みが軽減する ②自力で膝の屈曲が100度までできる ③補助具を使って歩行ができる ④深部静脈血栓の徴候がない	①自力で膝の屈曲が100～120度までできる ②杖または補助具で歩行ができる ③階段昇降ができる	①自宅での生活に不安なく退院ができる ②今後の治療方針について説明を受けて納得されている
処置・薬	10日目まで9時と21時に皮下注射があります			10日目に 抜糸を行います		
検査			7日目に 採血とレントゲンがあります	14日目に 採血とレントゲンがあります	20日目に 採血とレントゲンがあります	
観察	10時・14時・19時に、血圧・体温・脈拍を測定します 傷の状態や足のしびれや運動状況を確認します	10時と19時に、血圧・脈拍・体温を測定します 傷の状態と手足のしびれや運動状況を確認します	10時に、血圧・脈拍・体温を測定します 傷の状態と手足のしびれや運動状況を確認します			退院前に血圧・脈拍・体温を測定します
活動	車椅子乗車できます	リハビリの進行状況に合わせて、歩行器→1本杖と段階を踏んで進めます 機械での運動は膝が130度まで曲げて痛みがなければ終了です				
食事						
清潔				抜糸後は、入浴できます		
排泄	リハビリ状況に合わせて歩行器でトイレへ行ってください。(許可ができるまで看護師見守り下でおこないます)					
患者様及びご家族への説明・書類				14日目に 弾性ストッキングを除去します	次回受診日の説明と退院療養計画書・退院処方をお渡しします。 